

整 理 番 号 2024M-008
補 助 事 業 名 2024年度 ロボット産業・技術振興に関する調査研究等 補助事業
補助事業者名 一般社団法人 日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

「ロボット大賞」表彰事業は、2006年度より経済産業省と当会の共催により実施してきたが、2016年度の第7回ロボット大賞表彰からは、新たに共催者として総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省が加わり、より充実したものとなった。

表彰位は、経済産業大臣賞、総務大臣賞、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、中小企業庁長官賞、日本機械工業連合会会長賞、優秀賞、審査員特別賞である。

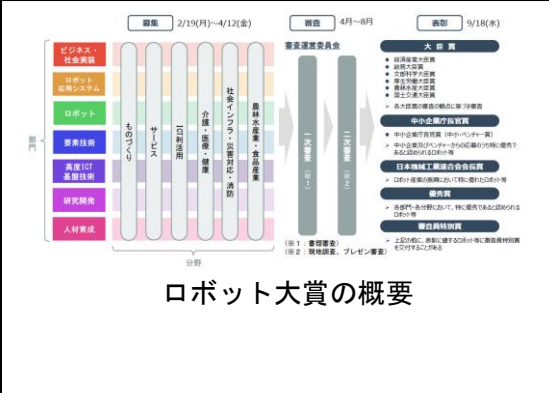
本事業は優秀事例を表彰することにより①ロボット関係者にモチベーションを与える、②ベストプラクティスの紹介によりロボット技術の普及を図る、③ロボットの社会実装の促進、④研究開発の高度化、⑤人材育成 等を目的としている。最終的には社会課題の解決や国際競争力の強化を通じて、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが活用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目的としている。

(2) 実施内容

【第11回ロボット大賞表彰の実施】

① ロボット大賞審査・運営委員会の開催

ロボット大賞審査・運営委員会を計3回開催し、応募案件の一次審査（書類審査）⇒現地調査⇒プレゼンテーション審査を行い、各表彰位案の決定を行った。



The diagram illustrates the timeline and categories of the Robot Award. It shows a vertical timeline from February to May, with key events like the application deadline (2/19), review period (4/1-4/12), and award ceremony (5/18). Categories include Best Award, Excellent Award, and Special Award. A table lists various award categories and their respective review periods.

ロボット大賞の概要



A photograph of a meeting room with several people seated around a long table, engaged in discussion. A presentation screen is visible in the background.

2024.07.23

第2回審査・運営委員会
(プレゼンテーション審査を含む)

② （２月１９日～）４月１２日 募集期間

③ 応募数：８５件 （エントリー数：１００件）

募集分野、募集部門ごとの各々の応募数は以下のものであった。

分野：（Ａ）ものづくり分野：２２件

（Ｂ）サービス分野：１９件

（Ｃ）ＩＣＴ利活用分野：３件

（Ｄ）介護・医療分野：１０件

（Ｅ）インフラ・災害対応・建設分野：１８件

（Ｆ）農林水産業・食品産業分野：１３件

部門：（１）ロボットビジネス・社会実装部門：２４件

（２）ロボット応用システム部門：１３件

（３）ロボット部門：３１件

（４）要素技術部門：４件

（５）高度ＩＣＴ基盤技術部門：２件

（６）研究開発部門：７件

（７）人材育成部門：４件

④ 第１１回ロボット大賞 受賞一覧

(<https://www.robotaward.jp/winning/index.html>)

⑤ 表彰式の開催 ９月１８日

Japan Robot Week 2024（東京ビッグサイト）のメインステージにて表彰式を開催。



経済産業大臣賞表彰の様子



受賞者記念撮影

2 予想される事業実施効果

① ロボットによる「生活の質の向上」への貢献

本表彰事業の最終的な目的として、製造現場から日常生活まで様々な場面でロボットが使用され、ロボットによる「生活の質の向上」が実現されることを目指している。

(2)－③「応募数」にみられるように、一部偏りがある部門はあるが、概ね応募は6分野・7部門から満遍なく得られている。また(2)－④「受賞一覧」にみられるように、受賞したロボットは、生活の広い分野・部門に渡っており、「生活の質の向上」に資するロボットを実現している。

② ロボット関係者に「ロボット大賞」受賞を目指すモチベーションを与える

応募者アンケートによると、ロボット大賞表彰事業への評価として、

(1) 日本における少子高齢化（働く人口の減少）の課題を解決するにあたり、ロボットによる省人化・自動化は日本経済を支える重要なテーマであり、ロボット大賞が広くロボットの情報を展開することで、ロボットがより身近に、採用の垣根が少しでも低くなり、日本経済を支えていくものになれば良い

(2) ロボット大賞の開催で優れたロボット技術の普及と発展を支援することを望む

(3) ユーザー企業としてロボット技術の高度化や低価格化を切に望んでおり、特に自動化が遅れている産品産業の技術開発促進につながることを期待する

等が挙げられている。

優秀なロボットを表彰することにより、開発意欲の向上、ロボットユーザーの導入意欲向上など、ロボット関係者のモチベーションアップに貢献している。

② 広く世間に最先端のロボット技術を紹介

「ロボット大賞」受賞ロボットは、ロボット大賞HP、主催者のHPなどで広く世間に広報されている。

【ロボット大賞HP】

(<https://www.robotaward.jp/>)

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 第11回ロボット大賞 ガイドブック 7,000部

(<https://www.robotaward.jp/news/pdf/RobotAwardGB11th.pdf>)



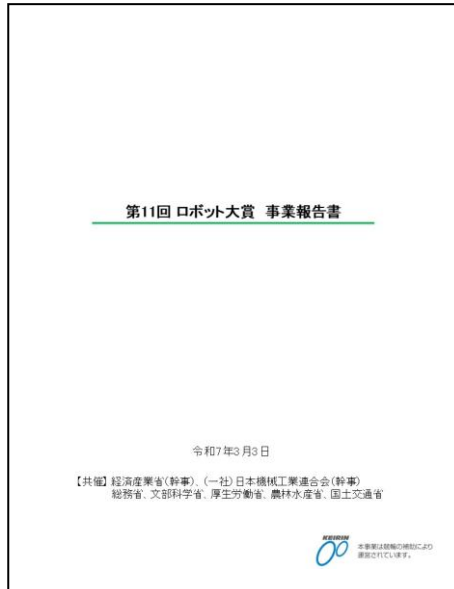
② 第12回ロボット大賞 募集要項リーフレット 7,000部

(https://www.robotaward.jp/news/pdf/12th_robot_boshu.pdf)



③ 第11回ロボット大賞 事業報告書

(<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/04/11roboaw.pdf>)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般社団法人 日本機械工業連合会 (ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

住所： 〒169-0075

東京都新宿区高田馬場一丁目31番18号 高田馬場センタービル12階

代表者： 会長 東原敏昭 (ヒガシハラトシアキ)

担当部署： DX・技術部 (デジタルトランスフォーメーション・ギジュツブ)

担当者名： 部長 益子龍太郎 (マシコリュウタロウ)

電話番号： 03-6302-1483

FAX： 03-6302-1654

E-mail： mashiko.ryutaro@jmf.or.jp

URL： <https://www.jmf.or.jp/>